

## 若手会員の会 活動報告

<http://j.weld.jp/welnet/index.html>

(若手会員の会からのお知らせはホームページにも掲載しています)

**若手会員の会運営委員会 新委員長就任挨拶  
および 第50回若手会員の会 運営委員会開催報告  
若手会員の会運営委員会 委員長 門井 浩太 (広島大学)**

**Policy speech of the new chairman of the WELNET steering committee and  
minutes of the 50th meeting of the WELNET steering committee**

### 1. 新委員長就任挨拶

平成 26, 27 年度の若手会員の会運営委員会委員長を仰せつかりました広島大学の門井です。これまでも、運営委員として副委員長や会計幹事を担当しながら本会に参加させて頂いておりましたが、本年度より委員長として気持ちを新たに、本会の発展に貢献できるよう努めさせて頂きたく所存です。皆様のご協力・ご支援のほど、よろしく願い申し上げます。

本会の目的は、溶接・接合分野に携わる若手の技術者・研究者間のネットワークを形成し、各委員メンバーがネットワークを通じて、より円滑に業務を推進できるような環境を整備することにあります。若い人の集まりらしく、自由で肩肘を張らない活動を行うことをモットーとして活動しております。歴代委員長など諸先輩方のご尽力により、若手会員の会の組織形成、若手会員のための行事・交流活動の立案、実行がなされ、これまでに研究会や施設見学会、全国大会イブニングフォーラムなどを定期的に開催して参りました。

平成 24 年度に、これまで本会の活動をリードし、実績を残されてきた現在約 40 歳の世代から、私を含む 30 歳前後の現世代にバトンを受けました。バトンを受けた高嶋前委員長が、諸先輩方の築き上げた定期的な行事の活性化に加え、ポスターセッションの全国大会行事化や WELNET 勉強会の立ち上げなど、本会の一層の発展に尽力されました。特に、ポスターセッションの全国大会行事化においては、若手に限らない学会員同士の交流の場の提供、ならびに新たに優秀ポスター発表賞が設立され、

第 1 回目となった昨年度の秋季全国大会では、約 170 名と多数の参加があり盛況でした。現世代の第二期となる今期も、これらの行事・交流をさらに発展するとともに新たな企画を立ち上げ、本会のさらなる発展に貢献できるよう努めさせて頂きたく所存です。そこで、本会の主な活動に関して抱負を述べさせていただきます。

「研究会・見学会」では、これまでと同様に地方支部と連携して若手会員間の情報交換や交流を図れるように実施していきます。特に、開催をお願いする支部での溶接・接合に関する地元企業にご参加いただける様な企画をし、新たな個人会員や賛助員として溶接学会に仲間入りするきっかけづくりとなるような会や、地方ではなかなか開催することのできない専門的な研究集会の開催など個人会員、賛助員向けの会など、ニーズに合わせた企画を可能な範囲で実現、提供できればと考えております。分野・業種に囚われないことがない、また地場に関連した施設や企業の見学を計画していければと存じます。「こういう施設・企業の見学がしたい」、「こんな分野・トピックの研究会・講演会をしたい」などございましたらぜひともお知らせください。なお、本年度第 1 回目の研究会・見学会は、東北支部にご協力いただき 7 月に仙台で開催する予定です。

「全国大会での若手向けの企画」は、春季全国大会でのイブニングフォーラムでは、これまでと同様に若手会員自身が聞きたい話題を企画していきます。先日の春季全国大会でのイブニングフォーラムでは、過去のアンケートで要望の多かったモニタリングや非破壊検査に焦

点を当て、「溶接・接合部の欠陥評価や品質管理の現状」と題して開催しました。前年度に続き50余名に参加いただき、盛況でした（こちらの詳細は次号にてご報告いたします）。次年度も若手会員に限らず、多くの方にとって魅力ある企画をしたいと思えます。

秋季全国大会では、昨年度全国大会行事化したポスターセッションの移行期間が平成27年度までとなりますので、運営協力を継続させていただくことに加え、今後も参加しやすい雰囲気作りを本会で担っていければと考えております。また、移行期間後を見据え新たな若手会員の会らしい新たなイベントを企画していく予定にしています。

「WELNET 勉強会」は、若手会員の若手会員による新しい取り組みとして、昨年度から立ち上げ、自分自身の専門のみに特化するのではなく、溶接・接合分野を幅広く理解し、互いに切磋琢磨しながら成長をしたいと希望を抱きながらスタートしました。昨年度キックオフとして若手会員で連携して取組める課題や会の運営方法を議論した結果を基に、本年度から本格的にスタートします（第1回は4月24日に実施しました）。今後は年に4回程度開催し、互いの知識を深めるとともに、自身の研究の発展に繋がるような会にしていきたいと考えております。

「新たな企画：他学会若手組織とのジョイント」として、学会の垣根を超えた交流・ネットワークづくりを目的とし、他学会の若手組織（鉄鋼協会や軽金属学会を予定）との合同シンポジウムを平成27年度春頃に開催する予定で企画・準備を進めています。互いの学会でのトレンドや雰囲気を知る、知識を深めることに加え、研究対象は違えど同様の学問立脚した研究に従事する仲間を新たに見つける、将来の共同研究・プロジェクトのきっかけづくりの場になるようなシンポジウムにしたいと考えております。

なお、これらの活動に関する情報は、主として学会HPや本会のメーリングリスト、溶接学会公式メールマガジン「溶接学会便り」により積極的に発信していきます。本会のメーリングリストに登録いただける方はご一報いただければ幸いです。

本会の魅力は、やはり気軽な交流の場であると思っております。若手らしく気兼ねなく議論をし、溶接・接合の専門分野や学会を超えて将来に繋がるネットワークや仲間づくりをできればと考えております。今後共これまでの諸先輩方の尽力により育まれた本会の発展となる様、学会員の皆様、諸先輩方のご協力、ご理解いただきながら、本会運営委員と力を合わせて魅力ある活動をしていきたいと思えます。

## 2. 第50回若手会員の会運営委員会報告

去る4月23日（水）、平成26年度春季全国大会の開催にあわせて、若手会員の会運営委員会を開催しました。委員長を含む幹事委員の承認や、平成25年度の会計報告、各委員会への出席報告、平成26年度の活動計画な

どに関する審議などがなされました。以下に主な内容をお知らせ致します。

日時：平成26年4月23日（水）12:00～13:00

場所：東京ビックサイト 604会議室

出席者：委員長、副委員長ほか運営委員、計22名（委任12名）

### 2.1 平成25年度事業および会計報告

高嶋前委員長より事業に関して、野村委員（会計幹事）より会計に関して報告がなされた。

### 2.2 平成26, 27年度委員長の承認

高嶋前委員長より、平成26, 27年度の運営委員長の門井委員を推薦する旨が提案され、承認された。委員長交代に際し、高嶋前委員長よりこれまでの運営に対する協力などに関する感謝の意が述べられ、委員長となった門井より今後の活動目標、抱負等が述べられた。

### 2.3 平成26, 27年度 幹事委員について

委員長 門井より平成26, 27年度 幹事委員について以下の様に推薦があり、承認された。

委員長：門井 浩太（広島大）

副委員長：岡田 徹 氏（新日鉄住金）、

尾崎 仁志 氏（三重大）

会計：野村 和史 氏（大阪大）

全国大会：（統括担当）三上 欣希 氏（大阪大）※1、

高嶋 康人 氏（大阪大）

（春季担当）山崎 洋輔 氏（日立造船）、

谷口 公一 氏（JFE スチール）

（秋季担当）柿内 茂樹 氏

（富山県工業技術センター）、

櫻庭 洋平 氏

（北海道立総合研究機構）

編集：藤井 啓道 氏（東北大）※2、

迎井 直樹 氏（神戸製鋼）※2

ML・広報：小椋 智 氏（大阪大）※3、

松嶋 道也 氏（大阪大）

研究会見学会：北村 貴典 氏（九工大）、

松本 直幸 氏（IHI）、

松原 敏夫 氏（徳島県工業技術センター）

勉強会：岡野 成威 氏（大阪大）、

廣畑 幹人 氏（名古屋大）

※1 全国大会運営委員、※2 学会編集委員、※3 情報化委員 兼務

### 2.4 平成26年事業計画について

委員長 門井より、本年度は、例年と同様に2, 3回の研究会・見学会の開催する準備を進めていることが報告された。第1回目は、東北支部との共催とし、7月18日に開催を予定しており、これに合わせて7月19日午前中にWELNET勉強会を開催予定であることが説明され

た。第2回目は、これまでの実績から東部地区での研究会・見学会を秋頃に開催予定で計画中である旨が報告された。

続いて、平成27年度春頃に他学会若手組織（鉄鋼協会 創形創出部会 若手フォーラム、軽金属学会 若手の会を予定）とのジョイントセッション開催を計画中であることが報告され、承認された。また、ポスターセッション全国大会化移行期間終了後の、若手の会主催の独自企画について議論された。各地域の企業・大学の見学会などは関心が高いとの意見があった。この他にも案があれば随時募集し、来年の秋季全国大会から具体的に着手できるように議論、準備を進めていくこととなった。

#### 2.5 平成26年度予算について

野村委員（会計幹事）より、平成26年度の若手会員の会予算は、学会の予算状況を勘案し、自主的に減額とした旨報告された。また、4月23日開催のイブニングフォーラムでご講演頂く企業の外部講師に対して旅費を支払う旨が提案され、承認された。

#### 2.6 編集担当報告

藤井委員（編集幹事）より、溶接学会誌第84巻4号で若手担当の特集記事の掲載があり、テーマおよび執筆候補者の選定が必要となることが報告された（2014年12月依頼、2015年3月5日締切予定）。7月の編集委員会で候補を報告できるよう u-welnet で案を絞り、秋の若手の会運営委員会で内容をほぼ決定できるよう進めていくこととなった。

#### 2.7 広報・情報化担当報告

三上委員（前 広報幹事、現 全国大会幹事）より、メーリングリスト welnet, u-welnet とともに配信数・配信対象者数ともここ数年で増加傾向である旨が報告された。近年運営委員数の増加傾向の反面、運営委員会の出欠の未返信数が増加しており、運営委員会での決議の際の過半数を確保することが困難な場合が生じている。未返信の期間や年齢を考慮して、運営委員の構成の見直しを行っていくこととなった。

また、新メンバーも加入したため、メーリングリストの運用方針について再確認した。

u-welnet（対象者：幹事、委員）：運営に関する情報伝達・共有、審議 ※転送不可

welnet（対象者：幹事、委員、オブザーバー、希望者）：若手会員の会活動の周知、情報共有 ※転送可

#### 2.8 全国大会イベント担当報告

尾崎委員（前 全国大会幹事、現 副委員長）より、平成26年度秋季全国大会でのポスターセッションは40枚が上限であり、そのための対応方法が議論された。また、パネル準備・撤収などの詳細は別途北陸支部と相談していくが、若手の会で協力できることがあれば対応していくこととなった。

平成27年度春季全国大会フォーラムのテーマ案について議論された。次回全国大会運営委員会までに概要を決定する必要があるため、u-welnet 等で引き続き審議していくこととなった。また、近年のフォーラムでは外部講師を招聘しており費用がかかる場合があることや、若手の会以外の方も参加していることなどから、1コイン程度の参加費を頂く案も検討していく。

#### 2.9 WELNET 勉強会について

岡野委員（勉強会幹事）より、WELNET 勉強会は、各研究委員会と同じく、基本的にクローズドなメンバー構成とし、オープンな議論の場とし、本勉強会での内容は機密事項扱いとすることが確認された。一方で、機密扱いといっても正式な契約が交わされた訳では無いため、報告内容については熟慮して欲しいとの意見が挙がった。4月24日に第1回目が開催されるが、進め方についてはブラッシュアップしていく。

以上、基本的な活動事項は概ね決定していますが、今後の活動に際しまして、若手会員の皆様、地方支部や賛助員企業の皆様からの研究会や見学会などの開催希望をお待ちしております。今後も、若手会員の会にご協力、ご支援を賜ります様よろしくお願い申し上げます。